

新型コロナウイルス検査体制の強化

日本列島は各地で最高気温が40℃を越すなど猛烈な暑さに襲われています。立秋を過ぎ暦の上では秋というのに、しばらくは新型コロナウイルス感染症対策と同時に熱中症の予防等、暑さ対策にも気を配らなければなりません。例年多くの人達が楽しみにしている夏の甲子園球場での全国高校野球大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により春の大会に続いて中止となりました。甲子園を目指して日々厳しい練習に耐えてきた球児たちの気持ちを思うと、残念ではありません。他方、春の選抜高校野球に出場予定であった32校には、真夏の甲子園球場での交流試合が組み込まれました。各校一試合だけではありませんが、あこがれのグラウンドに立てた選手にとっては、良い思い出になったのではないのでしょうか。

さて、新型コロナウイルス感染症は4月から5月にかけての緊急事態宣言の発令により感染者数は大幅に減りましたが、7月の初め頃から新規感染者が再び増え始め、全国で1日に1000人を超える感染者が報告されるなど、東京、大阪等の都市部から地方へと拡がりを見せています。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の継続を両立させていくためには、3密を避ける等の人々の感染防止対策の徹底と同時に、検査体制を整備して感染者を早期に発見し、感染拡大を防止していくことが重要となっています。

厚生労働省は今年7月7日、新型コロナウイルス検査が必要な方がより迅速・スムーズに検査を受けられるようにするとともに、濃厚接触者に加え、感染の疑いのある場合に広く検査を受けられるようするため、PCR検査の能力拡充等の検査体制の強化策について、次の5つの戦略を柱に推進していくことを公表しました。

- ①PCR検査機器・抗原定量検査機器の整備を更に支援する等、検査能力を強化する。
- ②東京都で行われている、唾液検査に特化した診療所を増やす取組を全国に横展開する等、検査アクセスの向上を図る。
- ③クラスター発生等の地域の発生状況を踏まえ、感染が発生した店舗等に限らず、地域の関係者を検査する等、地域の感染状況を踏まえ幅広く検査を実施する。
- ④医療機関や高齢者施設について、感染の可能性が高い場合は、新規入院・入所者を含め、医師の判断のもと迅速に検査できる体制を整える等、感染対策を強化する。
- ⑤唾液による抗原簡易キットや鼻腔検体による検査等、新技術の開発・実用化

を促進する。

こうした感染拡大防止策を講じつつ、新型コロナウイルス感染症に有効な治療薬・予防薬の1日も早い開発が待たれるところです。政府は、米国ファイザー社に続き、アストラゼネカ社との間で、同社が開発中のワクチンの供給契約を結んだことを発表しました。これらのワクチンが早期に開発、製品化されるのを期待すると同時に、国産ワクチンが開発されるのを望みたいと思います。